

政策 02 豊かな心と知性を育むまちづくり

施策 02 確かな学力を育む教育の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
学習意欲を持って授業を受け、確かな学力が育成されています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	指導要録の評定で全教科の評定が2以上である児童の割合（％） 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		90	90.2	91.3	92	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が1.1ポイント上昇した。これは、教職員研修の実施により、わかりやすい授業を展開したことで、児童の学力が向上したことが要因と考えられる。					☂ (低下)
						☀ (向上)
目 標 達 成 度 (---)						

指標	指導要録の評定で全教科の評定が3以上である生徒の割合（％） 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		55	46.1	46.6	60	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.5ポイント上昇した。これは、苦手教科があるために全教科での評定は3以上とまらないものの、その他の教科では学力が定着している生徒も一定数いることが要因と考えられる。					☀ (向上)
						☂ (低下)
目 標 達 成 度 (---)						

指標	学習意欲がある児童の割合（％） 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		95.8	94.9	94.8	96	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.1ポイント下降している。これは、教職員研修の実施により、多くの児童が活躍できる場を設定し、自ら学習したいと思わせる授業の展開しているが、学習意欲の向上につながっていない児童が一定数いることが要因と考えられる。					☂ (低下)
						☂ (低下)
目 標 達 成 度 (---)						

指標	学習意欲がある生徒の割合（％） 【教育行政課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		84.3	83.5	85.3	87.5	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が1.8ポイント上昇した。これは、教職員研修の実施により、多くの生徒が活躍できる場を設定し、自ら学習したいと思わせる授業が展開できたことで、学習意欲の向上につながったことが要因の一つとして考えられる。					☀ (向上)
						☂ (低下)
目 標 達 成 度 (---)						

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学力の定着

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	授業が分かると答える児童の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	94.2	94.7	93.4	95	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が1.3ポイント下降している。これは、教職員研修の実施により、わかりやすい授業を展開し多くの児童の学力が向上しているが、一方で授業を理解できていない児童が一定数いることが要因の一つと考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業01 学力の定着

指標	授業が分かると答える生徒の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	77.4	79.7	83.3	80	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が3.6ポイント上昇している。これは、教職員研修の実施により、わかりやすい授業が展開されていることが要因と考えられる。また、わかりやすい授業を展開することで、学習意欲が向上し、生徒の学力が向上していると考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業02 個に応じたきめ細かな指導の充実

指標	少人数指導授業を受けている児童の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	73.8	89.07	94.77	75	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が5.7ポイント上昇した。これは、小学校1、2年生は少人数数学級であるため、全員が全教科を少人数授業を受けており、3～6年生は、算数の授業で少人数指導授業を受けていることが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業02 個に応じたきめ細かな指導の充実

指標	少人数指導授業を受けている生徒の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	目標値を達成している。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業02 個に応じたきめ細かな指導の充実

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	特別な支援を必要とする児童生徒に対する補助員等の対応率(%)	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	42.6	100	100	72.5	☀ (向上)
評価	目標値を達成している。これは、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活支援員及び介助員を配置し、対応していることによる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 特色ある学校づくりの推進

指標	地域の特性を活かした特色ある学校づくりが実施されている割合(%)	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	97.2	100	100	100	☀ (向上)
評価	目標値を達成している。これは、各学校で創意工夫を活かした活動が行われており、特色ある学校づくりが進んでいることによる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業04 教職員の資質向上

指標	教職員の研修受講割合(%)	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	目標値を達成している。これは、研修対象教職員全員が研修を受講していることによる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業04 教職員の資質向上

指標	校内現職研修実施回数(回)	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	11	15.75	14.9	20	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が0.85ポイント下降した。これは、教職員の負担軽減により校内現職研修の回数が減少したことが要因と考えられるが、1回の研修につきより効果が見込まれる内容としている。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業04 教職員の資質向上

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	研修効果があったと感じる教職員の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	93.4	93.2	-	94	(比較不可)
評価	平成29年度までは、全教職員を対象とした一般研修を実施していたが、平成30年度からは教職員の負担軽減のため、全教職員を対象とした一般研修を行わないこととなったため。					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業05 教育環境の整備

指標	大規模改修工事を完了した学校数の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	8.3	25	33	41.7	☀️ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が8ポイント増加した。これは、大規模改造等整備方針に基づき、計画的な整備を実施していることが要因と考えられる。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業05 教育環境の整備

指標	施設維持管理上の不具合による教育支障件数（件）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）は横ばいであった。これは、施設修繕及び保守を実施することで、適切な施設維持管理に努め、教育支障件数が無かったことが要因として考えられる。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業05 教育環境の整備

指標	通学路上の危険箇所に対する要望への対応率（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【教育行政課】	86.4	78.7	79.5	86	☔️ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.8ポイント上昇した。これは、通学路上の危険箇所に対する要望の中には、道路状況等の要因により対応が難しい箇所があるため対応が難しい側面もあるが、児童生徒の安全確保のため、代替案で対応したことなどが要因と考えられる。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)